

# モニタリング結果報告書 (令和2年度)

## 1. 施設概要

施設名	津久井やまゆり園		
所在地	横浜市港南区芹が谷2-1-1		
サイトURL	https://www.kyoudoukai.jp/		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条第11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間※	H27.4.1 ~ R5.3.31 (2015年) (2023年)	施設所管課	障害サービス課

※R3.8.1~R5.3.31までの期間は非公募により施設の管理運営を継続

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>	
<p>利用状況C評価、利用者満足度一、収支状況S評価となったことから、3項目評価はBとした。なお、利用者満足度については、ご家族等に対して調査を実施したが、当事者目線の新しい障がい福祉の実現を目指し、令和3年度から満足度調査を利用者本人に対して実施し、本人の満足度やニーズを園の運営に反映させるため、指定管理者と実施方法を具体的に協議している。そのため、令和2年度の満足度調査の結果に対する評価は控え、令和3年度から実施予定の利用者への満足度調査の結果に基づき評価していくこととする。</p> <p>利用状況(C評価)は、仮園舎での生活のため、移転前の利用者以外の新規入所は受け入れていないことと、地域移行が進んだためである。(新たな園舎の開所は令和3年8月)</p> <p>新型コロナウイルス感染症が3項目に与える影響は特段見受けられなかったが、計画していた事業の中止・縮小や施設内の入念な清掃、来館者の体調チェックやアルコール消毒など、必要な感染症対策を行った。</p> <p>なお、令和元年度(令和元年11月~令和2年3月)に実施した随時モニタリングの結果を踏まえ、身体拘束を含めた利用者支援の実施状況及び改善状況等を現地確認するため、令和2年度も随時モニタリングを実施した。その結果、より一層の改善が必要とされた事項(身体拘束の軽減又は廃止に向けた取組等)については、継続した指導を行っている。また、次期指定管理者の非公募選定時に提出された事業計画書(以下「次期事業計画書」という。)において、行動制限判定会議の設置・運営、津久井やまゆり園利用者支援評価委員会(仮称)の設置及び支援改善を担当する業務執行理事の新設等が提案されている。</p> <p>今後も引き続き、県は、随時モニタリング等を通じて利用者支援の内容を確認するとともに、次期事業計画書の提案内容が着実に履行されるよう、必要な改善指導を行っていく。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 身体拘束ゼロに向けて、統一的な対応を徹底するために身体拘束等行動制限取扱要領を改定したり、併せて行動制限判定会議を設置し、適正な検証・評価がなされるよう体制強化を図った。 また、全利用者に対して、今後の住まいの場の設定を含む意思決定支援の充実に引き続き力を注ぎ、一人ひとりの暮らしの幅を広げてきた。</p> <p>◆利用状況 仮園舎のため移転前の利用者に限定しており、それ以外の新規入所者は受け入れていない。また、意思決定支援の充実により、地域移行が進んだ結果(令和2年度は5名の施設入所者がグループホーム等へ移行)、利用状況の評価は対前年度比94.2%となりC評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者家族を対象とした満足度調査では、上位2項目(満足、どちらかといえば満足)の回答が98.5%だった。回収率は78.4%で昨年度を上回っている。なお、今後、利用者への満足度調査を実施する方向で指定管理者と調整を進めているため、評価は控えた。</p> <p>◆収支状況 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため旅費や行事等の減少・縮小に加え、人件費が当初予算よりも抑えられたことによる支出減により、収支状況の評価はマイナス収支の縮減率127.26%でS評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 特になし</p> <p>◆事故・不祥事等 利用者同士のトラブルでのケガによる入院やおむつ交換が原因と思われる骨折事例が挙げられている。事故報告については、電話での第一報を速やかに県に報告している。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 特になし</p> <p>◆その他 今後は、現在検討している「当事者目線の新しい障がい福祉」の考え方を踏まえた支援を展開し、指定管理者との連携を継続していきます。</p>	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要
B	※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	令和2年7月～8月までの間、不定期に6回実施	令和元年度、法人の元理事の逮捕や外部からの利用者支援への指摘があったため、随時モニタリング（令和元年11月～令和2年3月）を実施し、令和2年4月に利用者支援やガバナンス体制等についての事実確認と原因究明を求めた。 令和2年6月に指定管理者から報告のあった内容を踏まえ、身体拘束を含めた利用者支援の実施状況及び改善状況等を現地確認するため、令和2年7月～8月にも随時モニタリングを実施した。
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		身体拘束の実施件数は減少（令和元年12月：25件、令和2年6月：9件）し、支援の改善が図られていることを確認し、より一層の改善が必要とされた事項（身体拘束の軽減又は廃止に向けた取組等）について指導を行った。

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
利用者本位の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束ゼロに向けて、統一的な対応を徹底するために身体拘束等行動制限取扱要領を改定したり、併せて行動制限判定会議を設置し、適正な検証・評価がなされるよう体制強化を図った。</li> <li>障害者虐待防止法について学びを深め、支援現場が直面する課題を解決する方法を探り、チームで取り組むことを目的とし、新たに全職員を対象とした虐待防止研修を実施した。</li> <li>全利用者に対して意思決定支援検討会議を開催し、各利用者の今後の住まいの場の意思確認を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の身体拘束に関する認識も高まり、身体拘束に頼らない支援構築に向けた検討がなされるようになり、解除に向けた具体的な取組が進んだ。</li> <li>【身体拘束実施件数】 令和元年12月：25件 令和2年6月：9件 令和3年3月：1件</li> <li>本人の望む生活の実現に向けた利用者それぞれの意思決定支援を継続して実施していく。</li> <li>今後、利用者本人の支援の実現のため、次期事業計画書の提案内容の着実な履行が望まれる。</li> </ul>
地域貢献と「ともに生きる社会」の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、知的障がい者や園に対する理解を深めてもらえるよう、祭りやコンサートなど地域の住民や子供たちが楽しく参加できるイベントを開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部への公開は全面中止となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃活動等の地元自治会活動、関係機関や団体の行事・会等には参加したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動は縮小した。</li> </ul>
人材の育成・確保と職員の処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>重度障害者支援加算を取得するため、職員の強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）の積極的な受講に取り組んだ。</li> <li>福祉・介護職員処遇改善加算の算定による賃金改善の継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに福祉・介護職員等特定処遇改善加算を算定し、賃金改善を実施した。</li> <li>今後、職員に対するケアの視点を含めた人材育成が望まれる。</li> </ul>

園の安定的運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント委員会等の体制のもと、ひやりはっと報告や事故報告は、法人内ネットワークシステムでデータ化し、集計・分析、情報共有する仕組みを構築。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、計画していた事業を中止・縮小するとともに、施設内の入念な清掃、来館者の体調チェックやアルコール消毒など、必要な感染症対策を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクの回避または低減を図るリスクマネジメントの取組を強化した。</li> </ul>
---------	--	---

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

## 5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	38,734	37,446	35,281
対前年度比		96.7%	94.2%
目標値	41,610	41,724	41,610
目標達成率	93.1%	89.7%	84.8%

目標値の設定根拠： 社会福祉入所施設であり目標値の設定が困難であるため  
入所定員×365日で設定（前年度は366日）

利用者数の算出方法（対象）： 施設入所者の延べ人数（定員114名）

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

### 【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

#### ①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

新施設が稼働するまでの間は仮園舎での生活であることから、移転前の利用者以外の新規入所は受け入れておらず、新型コロナウイルス感染症による影響は特段見受けられなかった。

利用状況がC評価となった理由としては、意思決定支援の充実により、県の障がい福祉施策でもある入所施設からの地域移行が進んだ結果である（令和2年度は5名の施設入所者がグループホーム等へ移行）。

#### ②令和2年度の対応状況

計画していた事業の中止・縮小や施設内の入念な清掃、来所者の体調チェックやアルコール消毒など、必要な感染症対策を行った。

## 6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
—	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易調査、定期調査	家族への調査の結果、前年度に比べ、ほとんどの回答が「満足」「どちらかといえば満足」となり、その中でも「満足」の割合が増えた。 なお、当事者目線の新しい障がい福祉の実現を目指し、令和3年度から満足度調査を利用者本人に対して実施し、本人の満足度やニーズを園の運営に反映させるため、指定管理者と実施方法を具体的に協議している。そのため、令和2年度の満足度調査の結果に対する評価は控え、令和3年度から実施予定の利用者への満足度調査の結果に基づき評価していく。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 現在、津久井やまゆり園の運営体制・支援体制に満足していますか

実施した調査の配布方法 手渡し・郵送 回収数/配布数 76 / 97 = 78.4%

配布(サンプル)対象 施設利用者の家族・後見人

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	47	17	0	1	65	※11名無記入
回答率	72.3%	26.2%	0.0%	1.5%		
前年度の回答数	42	21	1	2	66	
前年度回答率	63.6%	31.8%	1.5%	3.0%		
回答率の対前年度比	113.6%	82.2%	0.0%	50.8%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<b>【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】</b> (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 -
②令和2年度の対応状況 -

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：マイナスの施設が該当 (収支差額の当初予算額－収支差額の決算額)／収支差額の当初予算額の比率（マイナス収支の縮減率）が S(優良)：5%以上 A(良好)：0%～5%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：-15%～0%未満 C(収支差額の決算額の削減額が当初予算の85%未満)：-15%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計		支出	収支差額
前々年度	当初予算	251,778	660,149	9,211	備考欄参照	921,138	939,456	-18,318	
	決算	251,745	659,125	22,504	備考欄参照	933,374	956,544	-23,170	-26.49%
前年度	当初予算	274,613	627,211	13,028	備考欄参照	914,852	970,564	-55,712	
	決算	274,613	625,575	39,390	備考欄参照	939,578	943,158	-3,580	93.57%
令和2年度	当初予算	293,064	604,229	15,888	備考欄参照	913,181	965,487	-52,306	
	決算	293,064	616,690	14,847	備考欄参照	924,601	910,344	14,257	127.26%

※収支差額の当初予算額－収支差額の決算額/収支差額の当初予算額

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

○平成30年度

当初予算

・経常経費寄付金収入 850  
・拠点区分繰入金収入 1,205  
・その他の収入 7,156

決算

・経常経費寄付金収入 6,707  
・積立資産取崩収入 4,025  
・拠点区分繰入金収入 1,204  
・その他の収入 10,568

○令和元年度

当初予算

・経常経費寄付金収入 545  
・拠点区分繰入金収入 3,400  
・その他の収入 9,083

決算

・経常経費寄付金収入 13,349  
・積立資産取崩収入 8,634  
・拠点区分繰入金収入 3,400  
・その他の収入 14,007

○令和2年度

当初予算

・経常経費寄付金収入 545  
・積立資産取崩収入 4,720  
・その他の収入 10,623

決算

・経常経費寄付金収入 685  
・積立資産取崩収入 3,103  
・その他の収入 11,059

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、行事の中止・縮小により、支出が減少した。

②令和2年度の対応状況

-

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
6月2日	①3：03居室センサーが鳴り様子を伺いに行くと、利用者同士のトラブルを確認。顔面を強打した模様で、左頬の腫れと出血を確認。バイタル確認の際、意識が確認できないことから救急搬送要請。その後入院治療となる。 ②電話での第一報を受け、その後報告書により内容を確認した。 ③入院治療後退院。再発防止策として利用者の寮の異動を行い環境配慮を実施。 ④家族との情報共有を密に行い、事故の経過及び再発防止策において理解を得る。 ⑤無 ⑥無
8月25日	①7:58食堂にて発作確認。痙攣及び自動症が続く。その後、抗痙攣剤を2回使用するが発作が収まらず救急搬送要請。その後入院治療となる。 ②電話での第一報を受け、その後報告書により内容を確認した。 ③入院治療後退院。重責発作の際のマニュアルの確認、再周知を図る。 ④無 ⑤無 ⑥無
1月22日	①起床時、右足大腿部の腫れ、熱感を確認し通院。右足大腿部付け根骨折の診断を受け入院、手術となる。 ②電話での第一報を受け、その後報告書により内容を確認した。 ③手術2週間、リハビリを経て退院。加齢に伴う骨粗しょう症によるケアと介助方法の見直しを図り、再発防止策を講ずる。 ④無 ⑤無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	